

社会性の違いによって見る場所は 異なるのか



寺崎 友香梨

背景



- 日常生活において人と関わることは必要不可欠
- しかし、人と関わることに抵抗がある人もいれば、そうでない人もいる。

社会性の低い人

- ・グループワーク
- ・就職活動

不利!!



対策があると良い

社会性を見る場所に影響する

- Jarek, Martin, & Michael (2011)
実験的に社会性の高い人、低い人を作り、
写真のどこを見ているのかを観察

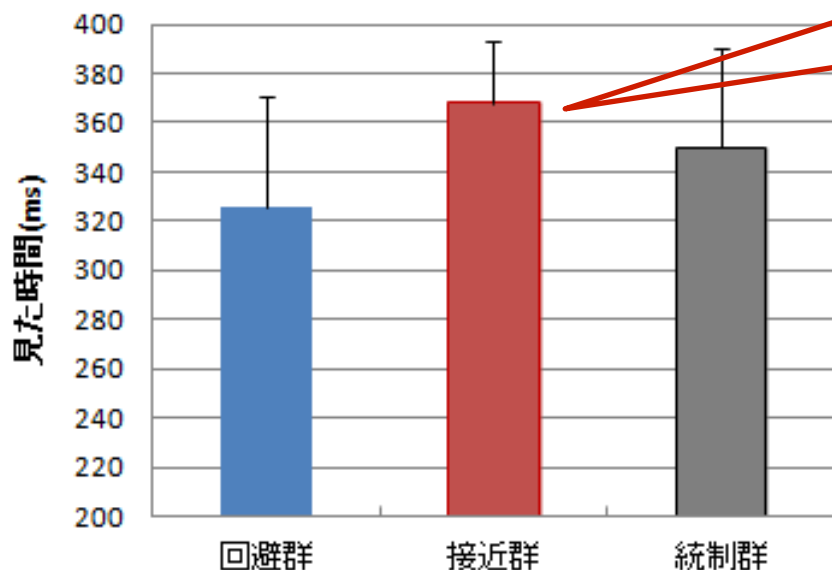


非社会的要素

社会的要素

社会性を見る場所に影響する

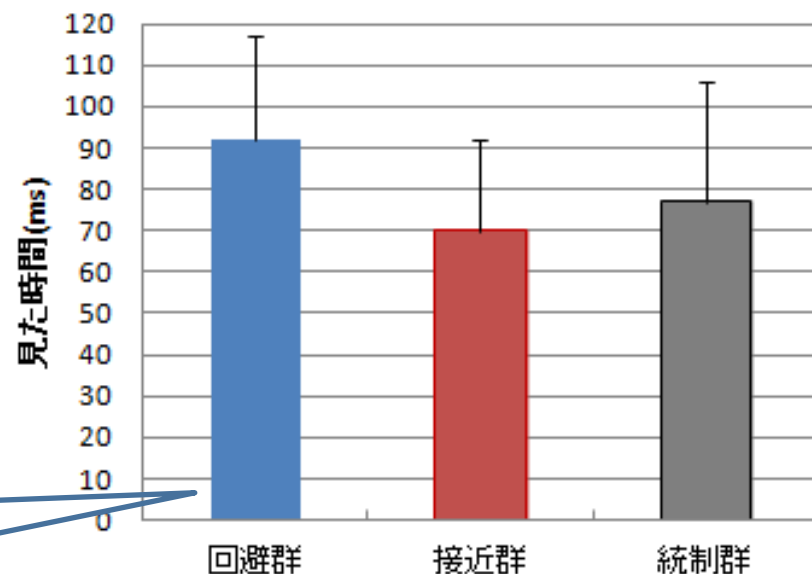
社会的位置



社会性の高い人
人の集まっている部分、顔

社会性の低い人
戸(出口)、窓(窓の外)

非社会的位置



目的

- 写真の見た部分

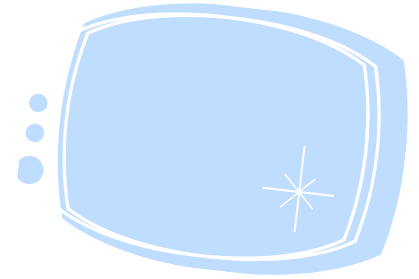
→社会性が高いのか、低いのか

Jarekの実験方法

→社会性を見分ける方法として有用かどうか



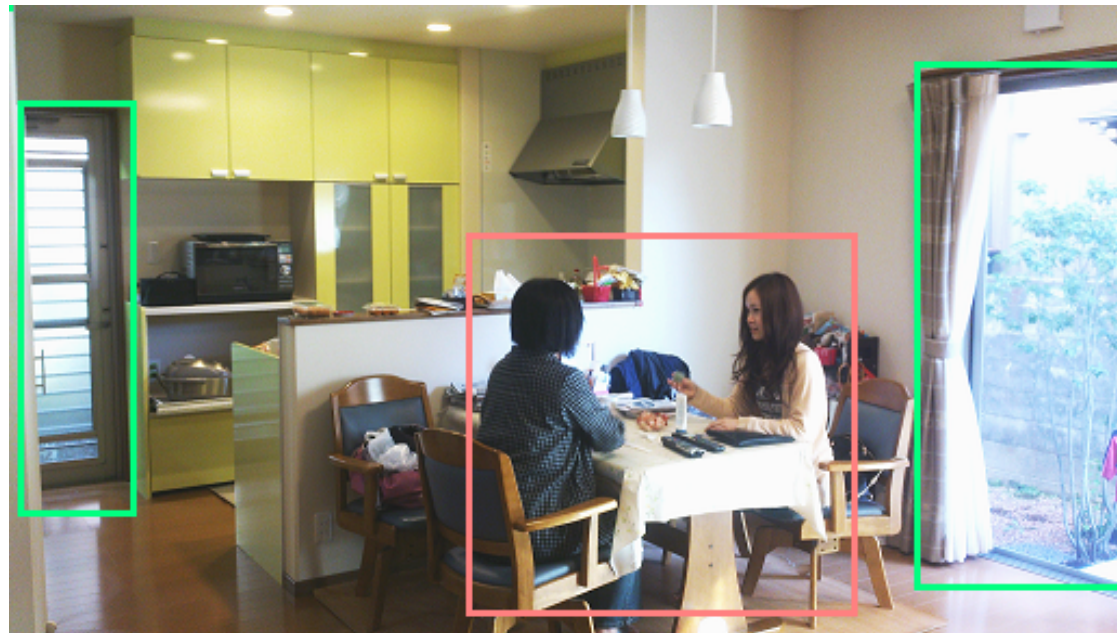
方法



- 被験者：金沢工業大学の学生43名
- 装置：PC(Mac mini Apple. inc)、液晶モニター
眼球運動測定装置(EyeLink II ,SR
Research)

顎乗せ台

- 刺激：写真5枚



手続き



- 眼球運動測定装置を装着、調整
- 5枚の写真を15秒間提示
- 課題はなく、写真を見てもらうだけ
- 5種類の質問紙(STAI、LSAS-J、FNE、SADS、I-AA)に答えてもらった

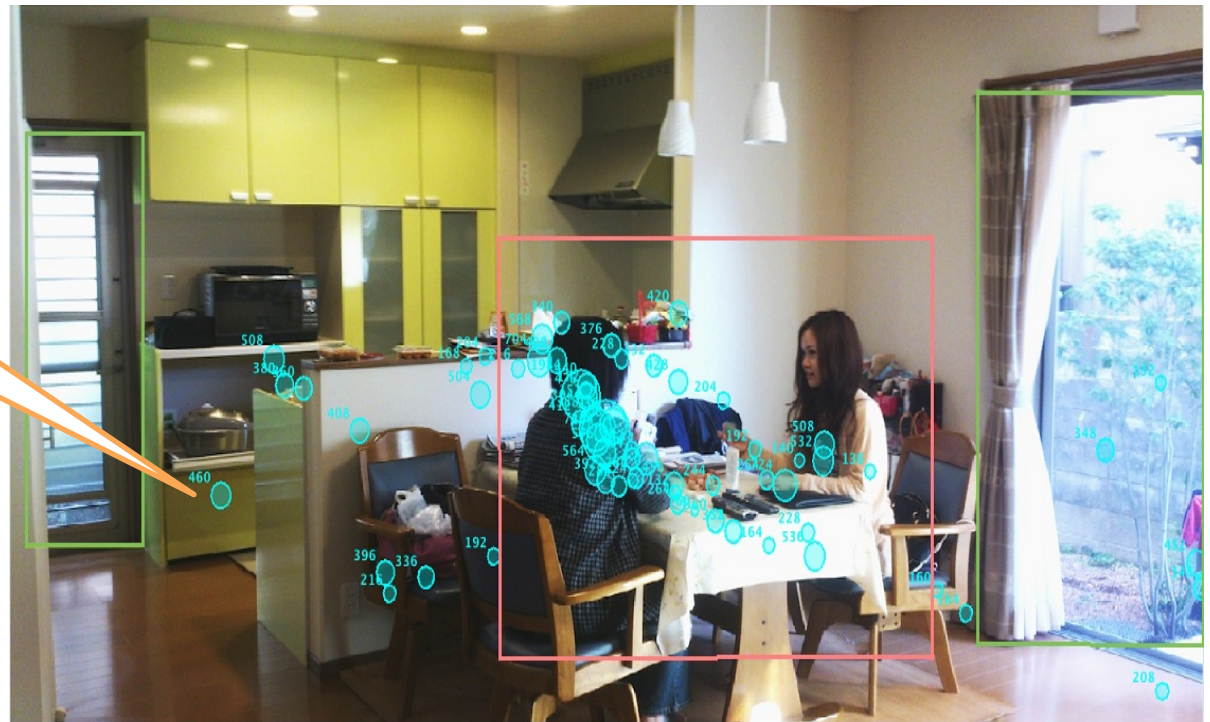
↑
一般的

社会的

結果

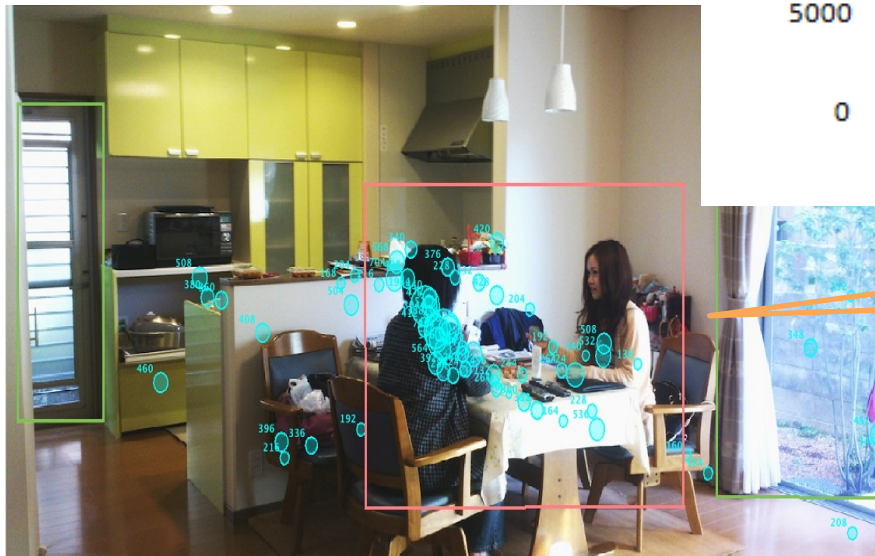
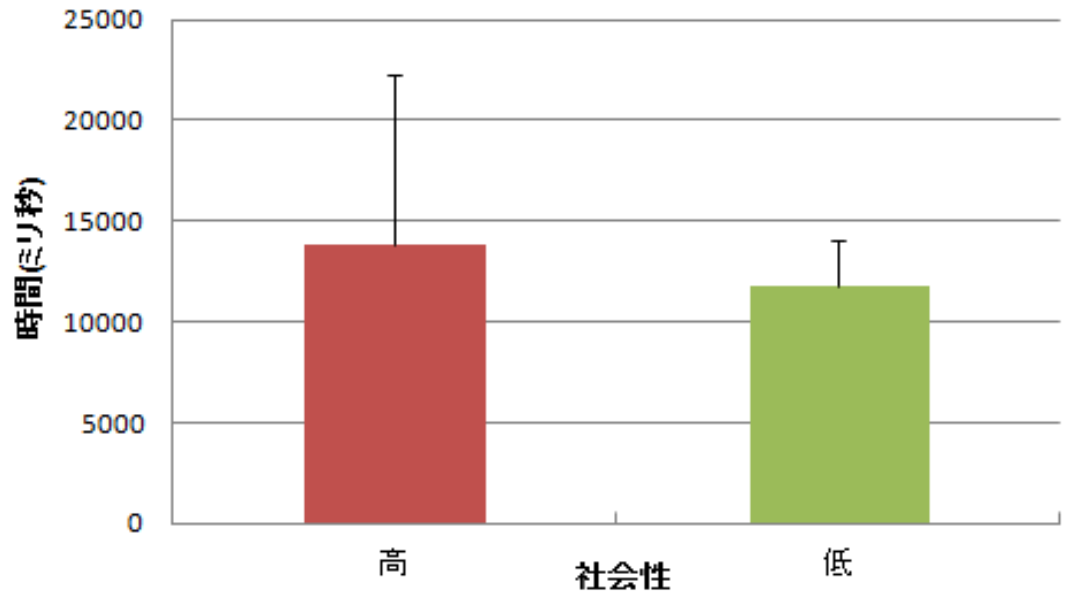
- 各質問紙の結果より、3グループに分けた
- 写真のどの部分を見たか解析

見た場所



- 社会的要素を見た合計時間
→ 社会性の高いグループ > 低いグループ

[STAI、FNE、SADS]

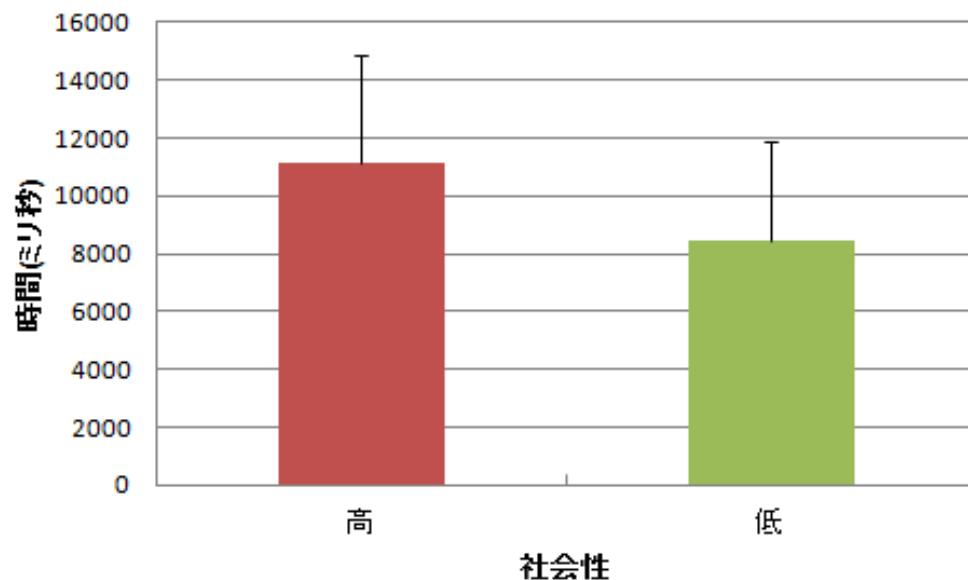
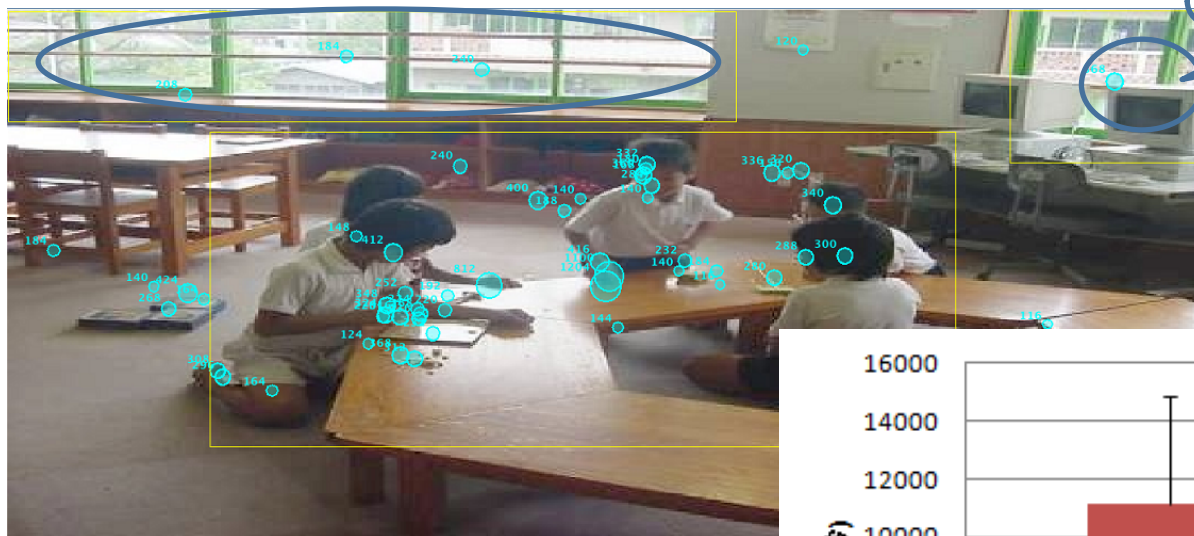


社会的要素を長く見ていた

- 非社会的要素を見るまでの時間
→ 社会性の高いグループ < 低いグループ

[STAI、LSAS-J、FNE、SADS、I-AA]

非社会的要素を早く見た



考察

- 視線位置の解析から、質問紙による社会性の高さとの関係を持つ
- 非社会的要素を見るまでの時間によって、社会性の高低を分類することが可能となる



参考文献

- Jarek, K., Martin, S., & Michael, M. (2011).
*The Effects of Priming-Induced Social Approach
and Avoidance Goals on the Exploration of
Goal-Relevant Stimuli..42*, 152-158.